

3 診療等の状況

(1) 検査等、手術等、放射線治療の実施状況

1) 検査等、手術等、放射線治療の実施状況

平成26年9月中の一般病院の手術等の実施状況をみると、「03 悪性腫瘍手術」2,319施設（一般病院総数の31.2%）となっており、これを部位別でみると「10 大腸」1,812施設（同24.4%）が最も多く、次いで「06 胃」1,593施設（同21.5%）となっている（表17）。

表17 一般病院の検査等、手術等、放射線治療の実施状況（複数回答）

平成26(2014)年9月中

	施設数	総数に対する割合 (%)	設置台数 ¹⁾	実施件数・患者数	実施1施設当たり実施件数・患者数	
一 般 病 院 数	7 426	100.0	
検査等	01 骨 塩 定 量 測 定	4 864	65.5	...	170 738 人	35.1 人
	02 気 管 支 内 視 鏡 検 査	1 306	17.6	...	14 368 人	11.0 人
	03 上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	5 010	67.5	...	550 850 人	110.0 人
	04 大 腸 内 視 鏡 検 査	4 135	55.7	...	241 087 人	58.3 人
	05 血 管 連 続 撮 影	1 702	22.9	...	96 100 人	56.5 人
	06 D S A (再掲)	1 445	19.5	...	31 384 人	21.7 人
	07 循 環 器 D R (再掲)	1 161	15.6	...	59 653 人	51.4 人
	08 マ ン モ グ ラ フ ィ ー	2 512	33.8	2 709 台	215 875 人	85.9 人
	09 R I 検 査 (シンチグラム)	1 137	15.3	1 459 台	84 348 人	74.2 人
	10 S P E C T (再掲)	1 054	14.2	1 341 台	45 111 人	42.8 人
	11 P E T	61	0.8	72 台	2 351 人	38.5 人
	12 P E T C T	273	3.7	346 台	37 187 人	136.2 人
	13 マ ル チ ス ラ イ ス C T	5 437	73.2	6 702 台	2 279 376 人	419.2 人
	14 そ の 他 の C T	980	13.2	1 014 台	52 276 人	53.3 人
	15 M R I 3 . 0 テ ス ラ 以 上	509	6.9	589 台	162 408 人	319.1 人
	16 M R I 1 . 5 テ ス ラ 以 上 3 . 0 テ ス ラ 未 満	2 573	34.6	3 012 台	724 443 人	281.6 人
	17 M R I 1 . 5 テ ス ラ 未 満	912	12.3	930 台	69 841 人	76.6 人
	18 3 D 画 像 処 理	2 010	27.1	...	251 463 人	125.1 人
	19 冠 動 脈 C T ・ 心 臓 M R I (再掲)	1 302	17.5	...	37 394 人	28.7 人
手術等	01 全 身 麻 酔 (静脈麻酔は除く)	3 484	46.9	...	226 928 件	65.1 件
	02 内 視 鏡 下 消 化 管 手 術	2 790	37.6	...	73 610 件	26.4 件
	03 悪 性 腫 瘍 手 術	2 319	31.2	...	56 143 件	24.2 件
	04 食 道 (再掲)	402	5.4	...	1 119 件	2.8 件
	05 肺 (再掲)	730	9.8	...	4 256 件	5.8 件
	06 胃 (再掲)	1 593	21.5	...	7 162 件	4.5 件
	07 肝 臓 (再掲)	753	10.1	...	2 940 件	3.9 件
	08 胆 嚢 (再掲)	381	5.1	...	811 件	2.1 件
	09 膵 臓 (再掲)	445	6.0	...	985 件	2.2 件
	10 大 腸 (再掲)	1 812	24.4	...	10 290 件	5.7 件
	11 腎 (再掲)	634	8.5	...	1 769 件	2.8 件
	12 前 立 腺 (再掲)	667	9.0	...	2 159 件	3.2 件
	13 乳 房 (再掲)	1 234	16.6	...	6 910 件	5.6 件
	14 子 宮 (再掲)	604	8.1	...	2 786 件	4.6 件
	15 人 工 透 析	2 402	32.3	60 797 台	1 712 661 件	713.0 件
	16 分 娩 (正 常 分 娩 を 含 む)	1 041	14.0	...	46 451 件	44.6 件
	17 帝 王 切 開 娩 出 術 (再掲)	977	13.2	...	11 543 件	11.8 件
放射線治療	01 位 置 決 め 装 置 X 線 シミュレーター	255	3.4	273 台	3 754 人	14.7 人
	02 位 置 決 め 装 置 C T シミュレーター	704	9.5	737 台	20 152 人	28.6 人
	03 放 射 線 治 療 計 画 装 置	767	10.3	1 719 台	22 886 人	29.8 人
	04 放 射 線 治 療 (体 外 照 射)	804	10.8	...	222 334 人	276.5 人
	05 リニアック・マイクロトロン(再掲)	728	9.8	922 台	206 889 人	284.2 人
	06 ガンマナイフ・サイバーナイフ(再掲)	85	1.1	90 台	1 943 人	22.9 人
	07 放 射 線 治 療 (腔 内 ・ 組 織 内 照 射)	183	2.5	...	1 000 人	5.5 人
	08 R A L S (再掲)	163	2.2	169 台	717 人	4.4 人
	09 I M R T (強 度 変 調 照 射) 等 の 高 精 度 照 射 有 り	309	4.2

注：1)設置台数は平成26(2014)年10月1日現在の数値である。

一般診療所の手術等の実施状況をみると、「12 人工透析」2,032 施設（一般診療所総数の 2.0%）となっており、実施 1 施設当たり実施件数は 887.9 件となっている。

また、歯科診療所では「インプラント手術」24,438 施設（歯科診療所総数の 35.6%）となっている。（表 18）

表 18 一般診療所及び歯科診療所の検査等、手術等、放射線治療の実施状況（複数回答）

平成26(2014)年9月中

		施設数	総数に 対する割合 (%)	設置台数 ¹⁾	実施件数 ・患者数	実施 1 施設 当たり実施件数・ 患者数
一	般 診 療 所					
総	数	100 461	100.0	…	…	…
検査等	01 骨 塩 定 量 測 定	21 922	21.8	…	397 678 人	18.1 人
	02 気 管 支 内 視 鏡 検 査	135	0.1	…	1 437 人	10.6 人
	03 上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	16 539	16.5	…	468 278 人	28.3 人
	04 大 腸 内 視 鏡 検 査	6 729	6.7	…	123 389 人	18.3 人
	05 血 管 連 続 撮 影	117	0.1	…	4 733 人	40.5 人
	06 D S A (再掲)	97	0.1	…	1 008 人	10.4 人
	07 循 環 器 D R (再掲)	28	0.0	…	3 725 人	133.0 人
	08 マ ン モ グ ラ フ ィ ー	1 315	1.3	1 495 台	256 094 人	194.7 人
	09 R I 検 査 (シンテグラム)	28	0.0	30 台	979 人	35.0 人
	10 S P E C T (再掲)	19	0.0	20 台	436 人	22.9 人
	11 P E T	24	0.0	29 台	487 人	20.3 人
	12 P E T C T	63	0.1	100 台	13 539 人	214.9 人
	13 マ ル チ ス ラ イ ス C T	3 042	3.0	3 075 台	204 510 人	67.2 人
	14 そ の 他 の C T	2 318	2.3	2 325 台	70 555 人	30.4 人
	15 M R I 3 . 0 テ ス ラ 以 上	64	0.1	69 台	13 689 人	213.9 人
	16 M R I 1 . 5 テ ス ラ 以 上 3 . 0 テ ス ラ 未 満	642	0.6	680 台	141 561 人	220.5 人
	17 M R I 1 . 5 テ ス ラ 未 満	1 213	1.2	1 228 台	142 079 人	117.1 人
	18 3 D 画 像 処 理	563	0.6	…	45 717 人	81.2 人
	19 冠 動 脈 C T ・ 心 臓 M R I (再掲)	117	0.1	…	3 637 人	31.1 人
手術等	01 全 身 麻 酔 (静脈麻酔は除く)	785	0.8	…	7 870 件	10.0 件
	02 内 視 鏡 下 消 化 管 手 術	2 170	2.2	…	21 615 件	10.0 件
	03 悪 性 腫 瘍 手 術	311	0.3	…	1 243 件	4.0 件
	04 肺 (再掲)	-	-	…	- 件	- 件
	05 胃 (再掲)	23	0.0	…	44 件	1.9 件
	06 肝 臓 (再掲)	4	0.0	…	36 件	9.0 件
	07 大 腸 (再掲)	102	0.1	…	482 件	4.7 件
	08 前 立 腺 (再掲)	16	0.0	…	37 件	2.3 件
	09 乳 房 (再掲)	50	0.0	…	406 件	8.1 件
	10 子 宮 (再掲)	17	0.0	…	30 件	1.8 件
	11 外 来 化 学 療 法	420	0.4	…	7 983 件	19.0 件
	12 人 工 透 析	2 032	2.0	68 233 台	1 804 114 件	887.9 件
	13 分 娩 (正 常 分 娩 を 含 む)	1 243	1.2	…	38 765 件	31.2 件
	14 帝 王 切 開 娩 出 術 (再掲)	1 033	1.0	…	5 254 件	5.1 件
放射線治療	01 放 射 線 治 療 (体 外 照 射)	30	0.0	…	2 678 人	89.3 人
	02 ガ ン マ ナ イ フ ・ サ イ バ ー ナ イ フ (再掲)	9	0.0	9 台	213 人	23.7 人
	03 放 射 線 治 療 (腔 内 ・ 組 織 内 照 射)	3	0.0	…	44 人	14.7 人
歯 科 診 療 所						
総	数	68 592	100.0	…	…	…
	イ ン プ ラ ン ト 手 術	24 438	35.6	…	25 189 件	1.0 件

注：1) 設置台数は平成 26 (2014) 年 10 月 1 日現在の数値である。

2) 分娩等の状況

平成26年9月中に「分娩（正常分娩を含む）」を実施した施設の状況をみると、一般病院1,041施設、一般診療所1,243施設となっており、年々減少している（表19）。

分娩件数を年次推移でみると減少傾向である。また、帝王切開娩出術件数の分娩に占める割合は増加傾向である。（表20、図4）

分娩を取扱う施設のうち、「院内助産所あり」は一般病院127施設（分娩取扱あり施設の12.0%）、一般診療所39施設（同3.0%）となっている（表21）。

表19 分娩を実施した施設数の年次推移

		分娩を実施した施設総数			構成割合（%）		
		分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数	分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数		
平成14年	(2002)	3 306	1 503	1 803	100.0	45.5	54.5
17	('05)	2 933	1 321	1 612	100.0	45.0	55.0
20	('08)	2 567	1 126	1 441	100.0	43.9	56.1
23	('11)	2 378	1 051	1 327	100.0	44.2	55.8
26	('14)	2 284	1 041	1 243	100.0	45.6	54.4

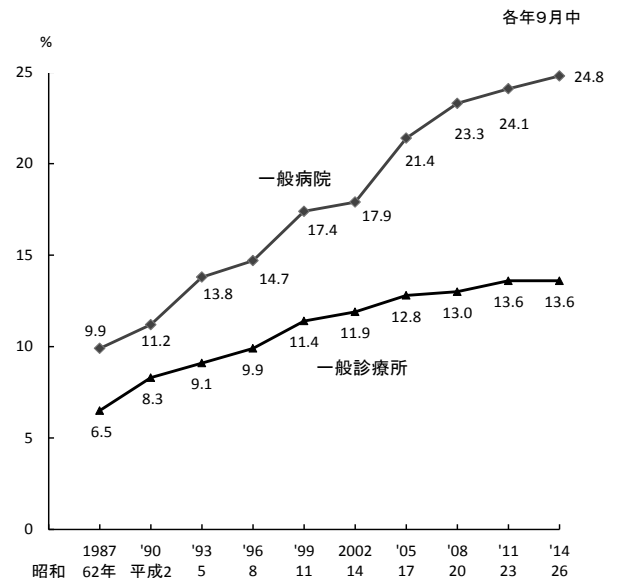
注：平成23年の数値は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

表20 分娩件数の年次推移

	各年9月中						
	一般病院			一般診療所			
	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)	分娩件数	帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)	
昭和62年	(1987)	59 939	5 933	9.9	45 040	2 948	6.5
平成2年	('90)	53 497	5 981	11.2	35 233	2 919	8.3
5	('93)	54 065	7 486	13.8	40 347	3 687	9.1
8	('96)	52 976	7 791	14.7	43 034	4 270	9.9
11	('99)	50 959	8 852	17.4	40 097	4 571	11.4
14	(2002)	49 629	8 900	17.9	41 498	4 938	11.9
17	('05)	44 865	9 623	21.4	40 247	5 156	12.8
20	('08)	47 626	11 089	23.3	42 792	5 553	13.0
23	('11)	46 386	11 198	24.1	40 309	5 464	13.6
26	('14)	46 451	11 543	24.8	38 765	5 254	13.6

注：平成23年の数値は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

図4 帝王切開娩出術の割合の年次推移



注：1) 平成23年の数値は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
2) 割合は、分娩件数に対する帝王切開娩出術件数の割合(%)である。

表21 分娩の取扱の状況

平成26(2014)年10月1日現在					
	総数	分娩取扱あり ¹⁾			
		施設数	院内助産所あり	担当医師数 (常勤換算)	担当助産師数 (常勤換算)
一般病院	7 426	1 055	127	6 317.2	18 223.6
一般診療所	100 461	1 308	39	2 259.2	4 957.7
一般病院	100.0	14.2	1.7
一般診療所	100.0	(100.0)	(12.0)
		1.3	0.0
		(100.0)	(3.0)		

注：1) 分娩取扱ありとは、9月中の分娩の有無にかかわらず、施設で分娩を取り扱っている場合をいう。
2) ()内は分娩取扱ありの一般病院及び一般診療所に対する「院内助産所あり」の割合(%)である。

(2) 緩和ケアの状況

一般病院における緩和ケア（施設基準を満たしていないものを含む。）の状況をみると、「緩和ケア病棟あり」は366施設（一般病院総数の4.9%）、「緩和ケアチームあり」は991施設（同13.3%）となっている（表22）。

表22 一般病院の緩和ケアの状況

平成26（2014）年10月1日現在

緩和ケア病棟			緩和ケアチーム		
		構成割合(%)			構成割合(%)
一般病院	7 426 施設	100.0	一般病院	7 426 施設	100.0
緩和ケア病棟あり	366 施設	4.9	緩和ケアチームあり	991 施設	13.3
病床数	6 997 床	...	9月中の患者数	28 042 人	...
9月中の取扱患者延数	106 235 人	...	(再掲) 新規依頼患者数	7 793 人	...
緩和ケア病棟なし	7 060 施設	95.1	緩和ケアチームなし	6 435 施設	86.7

(3) 特殊診療設備の保有状況

一般病院における特殊診療設備の保有状況をみると、「06 外来化学療法室」1,762施設（一般病院総数の23.7%）、「01 特定集中治療室(ICU)」780施設（同10.5%）となっている。

「産婦人科」又は「産科」を標ぼうしている一般病院では、「03 母体・胎児集中治療室(MFICU)」110施設（「産婦人科」又は「産科」を標ぼうしている一般病院の8.1%）、「07 新生児特定集中治療室(NICU)」326施設（同24.0%）、「09 新生児治療回復室(GCU)」278施設（同20.4%）となっている（表23）。

表23 一般病院の特殊診療設備の保有状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	施設数	総数に対する割合 %	病床数 床	9月中の取扱患者延数 人
一 般 病 院 総 数	7 426	100.0
01 特 定 集 中 治 療 室 (ICU)	780	10.5	6 552	117 317
02 脳 卒 中 集 中 治 療 室 (SCU)	131	1.8	926	20 604
03 母 体 ・ 胎 児 集 中 治 療 室 (MFICU)	110	1.5	715	14 484
04 無 菌 治 療 室 (手 術 室 は 除 く)	525	7.1	4 223	69 520
05 放 射 線 治 療 病 室	88	1.2	244	2 846
06 外 来 化 学 療 法 室	1 762	23.7	14 213	217 536
07 新 生 児 特 定 集 中 治 療 室 (NICU)	330	4.4	3 052	68 838
08 心 臓 内 科 系 集 中 治 療 室 (CCU)	323	4.3	1 759	28 249
09 新 生 児 治 療 回 復 室 (GCU)	281	3.8	3 942	65 186
10 小 児 集 中 治 療 室 (PICU)	41	0.6	256	3 512
11 陰 圧 室	624	8.4	5 434	62 637
(再 掲) 「産婦人科」又は「産科」を標 ぼうしている一般病院	1 361	(100.0)
03 母 体 ・ 胎 児 集 中 治 療 室 (MFICU)	110	(8.1)	715	14 484
07 新 生 児 特 定 集 中 治 療 室 (NICU)	326	(24.0)	2 996	67 639
09 新 生 児 治 療 回 復 室 (GCU)	278	(20.4)	3 851	63 395

注：()内は「産婦人科」又は「産科」を標ぼうしている一般病院に対する割合(%)である。

(4) 在宅医療サービスの実施状況

平成26年9月中の在宅医療サービスの実施状況をみると、病院の「医療保険等による在宅サービスを実施している」は5,305施設（病院総数の62.5%）、「介護保険による在宅サービスを実施している」は2,531施設（同29.8%）となっている。一般診療所の「医療保険等による在宅サービスを実施している」は38,478施設（一般診療所総数の38.3%）、「介護保険による在宅医療サービスを実施している」は10,293施設（同10.2%）となっている。また、歯科診療所の「在宅医療サービスを実施している」は14,069施設（歯科診療所総数の20.5%）となっている。

実施1施設当たり実施件数をみると、病院では「06 精神科在宅患者訪問看護・指導」、一般診療所では「03 歯科訪問診療」、歯科診療所では「03 訪問歯科衛生指導」が最も多くなっている。

（表24）

表24 在宅医療サービスの実施状況（複数回答）

平成26(2014)年9月中

	施設数	総数に対する割合 (%)	実施件数	実施1施設当たり実施件数
病 院				
病 院 総 数	8 493	100.0
医療保険等による在宅サービスを実施している	5 305	62.5
01 往診	1 627	19.2	14 438	8.9
02 在宅患者訪問診療	2 692	31.7	123 557	45.9
03 歯科訪問診療	166	2.0	9 304	56.0
04 救急搬送診療	569	6.7	5 535	9.7
05 在宅患者訪問看護・指導	804	9.5	26 660	33.2
06 精神科在宅患者訪問看護・指導	887	10.4	104 064	117.3
07 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	621	7.3	11 231	18.1
08 訪問看護ステーションへの指示書の交付	2 838	33.4	53 335	18.8
09 在宅看取り	476	5.6	829	1.7
介護保険による在宅サービスを実施している	2 531	29.8
10 居宅療養管理指導（介護予防サービスを含む）	1 130	13.3	46 610	41.2
11 訪問看護（介護予防サービスを含む）	916	10.8	80 458	87.8
12 訪問リハビリテーション（介護予防サービスを含む）	1 486	17.5	171 580	115.5
一 般 診 療 所				
一 般 診 療 所 総 数	100 461	100.0
医療保険等による在宅サービスを実施している	38 478	38.3
01 往診	23 358	23.3	193 114	8.3
02 在宅患者訪問診療	20 597	20.5	948 728	46.1
03 歯科訪問診療	157	0.2	11 584	73.8
04 救急搬送診療	1 575	1.6	3 351	2.1
05 在宅患者訪問看護・指導	3 104	3.1	49 231	15.9
06 精神科在宅患者訪問看護・指導	461	0.5	25 915	56.2
07 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	1 831	1.8	10 508	5.7
08 訪問看護ステーションへの指示書の交付	14 513	14.4	119 407	8.2
09 在宅看取り	4 312	4.3	8 167	1.9
介護保険による在宅サービスを実施している	10 293	10.2
10 居宅療養管理指導（介護予防サービスを含む）	7 169	7.1	332 894	46.4
11 訪問看護（介護予防サービスを含む）	1 625	1.6	32 757	20.2
12 訪問リハビリテーション（介護予防サービスを含む）	1 489	1.5	77 077	51.8
歯 科 診 療 所				
歯 科 診 療 所 総 数	68 592	100.0
在宅医療サービスを実施している	14 069	20.5
01 訪問診療（居宅）	9 483	13.8	98 824	10.4
02 訪問診療（施設）	9 383	13.7	330 780	35.3
03 訪問歯科衛生指導	4 597	6.7	230 219	50.1
04 居宅療養管理指導（歯科医師による）	4 590	6.7	156 986	34.2
05 居宅療養管理指導（歯科衛生士等による）	3 491	5.1	167 253	47.9
06 介護予防居宅療養管理指導（歯科医師による）	1 371	2.0	9 835	7.2
07 介護予防居宅療養管理指導（歯科衛生士等による）	1 149	1.7	10 737	9.3
08 その他の在宅医療サービス	85	0.1	1 254	14.8

(5) 救急医療の状況

救急医療の状況をみると、病院の「救急医療体制あり」は4,804施設（病院総数の56.6%）、「軽度の救急患者への夜間・休日における診療を行う医療施設」は1,376施設（同16.2%）、「入院を要する救急医療施設」は3,865施設（同45.5%）、「救命救急センター」は270施設（同3.2%）、「精神科救急医療体制あり」は1,067施設（同12.6%）となっている（表25）。

疾患の種類別に病院の夜間（深夜も含む）救急対応の可否の状況をみると、「ほぼ毎日対応」は「内科系疾患」3,251施設（病院総数の38.3%）、「外科系疾患」2,438施設（同28.7%）、「小児科（小児外科を含む）疾患」883施設（同10.4%）、「産科疾患（分娩を含む）」883施設（同10.4%）となっている（表26）。

また、一般診療所の「在宅当番医制あり」は16,579施設（一般診療所総数の16.5%）となっている（表27）。

表25 病院の救急医療体制の状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	総数	救急医療体制あり	救急医療体制あり			精神科救急医療体制あり
			初期 （軽度の救急患者への夜間・休日における診療を行う医療施設）	二次 （入院を要する救急医療施設）	三次 （救命救急センター）	
施設数	8 493	4 804	1 376	3 865	270	1 067
総数に対する割合（%）	100.0	56.6	16.2	45.5	3.2	12.6

表26 病院の夜間（深夜も含む）救急対応の可否の状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	施設数					構成割合（%）				
	総数	対応している		対応していない	不詳	総数	対応している		対応していない	不詳
		ほぼ毎日	ほぼ毎日以外				ほぼ毎日	ほぼ毎日以外		
疾患の種類別夜間救急対応										
内科系疾患	8 493	3 251	1 113	3 601	528	100.0	38.3	13.1	42.4	6.2
小児科（小児外科を含む）疾患	8 493	883	629	6 341	640	100.0	10.4	7.4	74.7	7.5
（再掲） 「小児科」又は「小児外科」を標ぼうしている病院	2 710	838	539	1 228	105	100.0	30.9	19.9	45.3	3.9
外科系疾患	8 493	2 438	1 268	4 208	579	100.0	28.7	14.9	49.5	6.8
脳神経外科系疾患	8 493	1 172	675	6 009	637	100.0	13.8	7.9	70.8	7.5
産科疾患（分娩を含む）	8 493	883	127	6 852	631	100.0	10.4	1.5	80.7	7.4
（再掲） 「産婦人科」又は「産科」を標ぼうしている病院	1 361	875	115	340	31	100.0	64.3	8.4	25.0	2.3
精神科	8 493	1 242	707	5 896	648	100.0	14.6	8.3	69.4	7.6
多発外傷	8 493	1 101	753	5 963	676	100.0	13.0	8.9	70.2	8.0

表27 一般診療所の救急医療体制の状況と休日夜間急患センターの状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	総数	在宅当番医制あり	休日夜間急患センター	精神科救急医療体制あり
施設数	100 461	16 579	431	375
総数に対する割合（%）	100.0	16.5	0.4	0.4

(6) 院内感染防止対策の状況

病院の院内感染防止対策の「専任担当者がある」は5,399施設（病院総数の63.6%）、専任担当者人数は14,557人となっている（表28）。

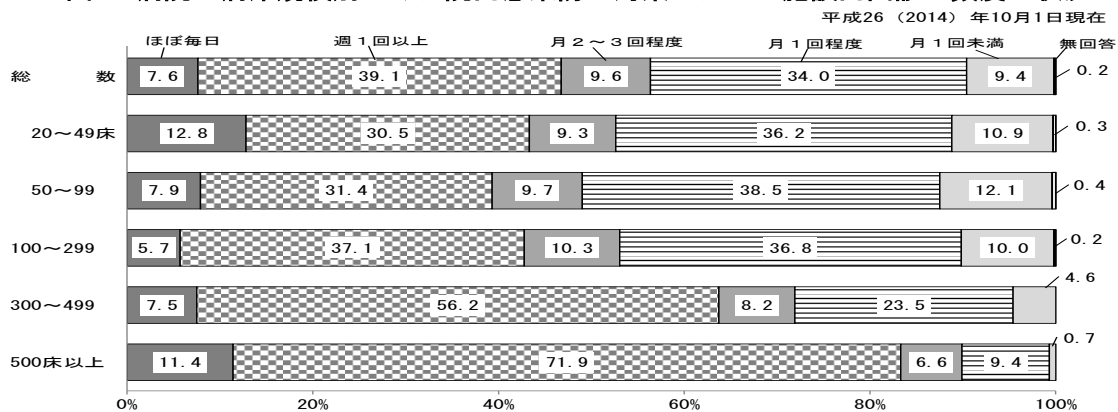
病床規模別に院内感染防止対策のための施設内回診の頻度をみると、100床以上の全ての病床区分において「週1回以上」が最も多くなっている（図5）。

表28 病院の病床規模別にみた院内感染防止対策の専任担当者の状況

平成26（2014）年10月1日現在

	院内感染防止対策の専任担当者の状況			専任担当者数（人）
	総数	専任担当者がある	専任担当者がいない	
	施設数			
総数	8 493	5 399	3 094	14 557
20～49床	945	443	502	855
50～99	2 147	1 146	1 001	3 164
100～299	3 873	2 516	1 357	7 048
300～499	1 091	891	200	2 300
500床以上	437	403	34	1 190
	構成割合（%）			
総数	100.0	63.6	36.4	...
20～49床	100.0	46.9	53.1	...
50～99	100.0	53.4	46.6	...
100～299	100.0	65.0	35.0	...
300～499	100.0	81.7	18.3	...
500床以上	100.0	92.2	7.8	...

図5 病院の病床規模別にみた院内感染防止対策のための施設内回診の頻度の状況



(7) 受動喫煙防止対策等の状況

受動喫煙防止対策の状況をみると、病院では「敷地内を全面禁煙としている」4,351施設（病院総数の51.2%）が最も多くなっており、一般診療所及び歯科診療所では「施設内を全面禁煙としている」が51,284施設（一般診療所総数の51.0%）、35,749施設（歯科診療所総数の52.1%）と、それぞれ最も多くなっている（表29）。

専門外来である「禁煙外来」の設置状況をみると、病院では2,410施設（病院総数の28.4%）、一般診療所では12,692施設（一般診療所総数の12.6%）となっている（表30）。

表29 受動喫煙防止対策の状況

平成26（2014）年10月1日現在

	施設数			構成割合（%）		
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	8 493	100 461	68 592	100.0	100.0	100.0
敷地内を全面禁煙としている	4 351	30 614	22 701	51.2	30.5	33.1
施設内を全面禁煙としている	2 758	51 284	35 749	32.5	51.0	52.1
喫煙場所を設置し、非喫煙場所に煙が流れ出ないように措置している	1 182	8 076	4 127	13.9	8.0	6.0
その他の措置を講じている	119	1 592	901	1.4	1.6	1.3
何ら措置を講じていない	14	2 185	1 510	0.2	2.2	2.2
不詳	69	6 710	3 604	0.8	6.7	5.3

表30 禁煙外来の設置の状況

平成26（2014）年10月1日現在

	施設数		構成割合（%）	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 493	100 461	100.0	100.0
禁煙外来あり	2 410	12 692	28.4	12.6
禁煙外来なし	6 083	87 769	71.6	87.4

(8) 新人看護職員研修の状況

病院における新人看護職員研修の状況をみると、「新人看護職員がいる」は4,923施設（病院総数の58.0%）で、このうち「新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を実施している」は4,072施設（新人看護職員がいる病院の82.7%）となっている（表31）。

表31 病院の新人看護職員研修の状況

平成26（2014）年10月1日現在

	総数	新人看護職員がいる	新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を実施している	新人看護職員研修ガイドラインに沿わない研修を実施している	新人看護職員研修を実施していない	新人看護職員がいない
施設数	8 493	4 923	4 072	702	149	3 570
総数に対する割合(%)	100.0	58.0 (100.0)	47.9 (82.7)	8.3 (14.3)	1.8 (3.0)	42.0

注：（ ）内は新人看護職員がいる病院に対する割合(%)である。

(9) 職員のための院内保育サービスの状況

病院における職員のための院内保育の状況をみると、「院内保育を実施している」は3,523施設（病院総数の41.5%）となっている。このうち「夜間保育あり」は1,903施設（院内保育を実施している病院の54.0%）、「病児保育あり」は668施設（同19.0%）となっている（表32）。

院内保育を実施している病院の保育施設の利用者は「自施設の看護師・准看護師」が3,372施設（院内保育を実施している病院の95.7%）と最も多くなっている（表33）。

表32 病院の職員のための院内保育サービスの状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	総数	院内保育を実施している	院内の施設を利用	院外の施設を利用	夜間保育あり	病児保育あり
施設数	8 493	3 523	2 607	939	1 903	668
総数に対する割合(%)	100.0	41.5 (100.0)	30.7 (74.0)	11.1 (26.7)	22.4 (54.0)	7.9 (19.0)

注：（ ）内は院内保育を実施している病院に対する割合(%)である。

表33 院内保育を実施している病院の保育施設の利用者の状況（複数回答）

平成26（2014）年10月1日現在

	院内保育を実施している	保育施設の利用者				
		自施設の医師・歯科医師	自施設の看護師・准看護師	その他の自施設の職員	併設施設の職員	その他
施設数	3 523	2 373	3 372	2 802	1 191	286
院内保育を実施している病院に対する割合(%)	100.0	67.4	95.7	79.5	33.8	8.1